

『ゆっくり』 作：ポチ子

『ゆっくり』 作：ポチ子

夜は良い。

時間がゆっくり流れるから。

ベッドに横になって、

天井を見つめる。

朝が来るなんて、

とても想像できない。

このままずっと夜のままだ。

テレビもつけずに、

ただぼーっとしていれば、

もしかしたら、

本当に時間が止まってしまったのかも、

なんて気がしてくる。

夜は静かだ。

車の走る音も、

誰かの喋る声も聞こえない。

この世界で、

たった一人になつたみたい。

— 終わり —